

**Envision
a future world!**

君が、世界を創造する。

**新M1対象
6月28日（金） 願書締切**

8月5日（月）・6日（火） 選抜試験 10月上旬 履修開始

超域生募集

超域イノベーション博士課程プログラム
2024年度 Basicコース

給付型
奨学金※

修士：月額6万円
博士：月額9万円

海外旅費
支援※

修士：上限50万円
博士：上限100万円

グループ企画
支援※

上限50万円/年
修士・博士共通

博士授業料
免除※

53万円相当/年
博士対象



詳しくは超域Webサイトをご覧ください。

超域



<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp>

※2023年度実績。経済支援の内容は変更される可能性があります。



超域イノベーション博士課程プログラム

プログラムの概要

本プログラムは、社会における複雑で困難な状況に対して“あるべきがた”を着想し、新たな知の探求や知と知の融合を構想することにより、新たな価値を創り出す取り組みを先導できる、すなわち、社会システムの変革に至るイノベーションを様々な境域を超えて導いていくことができる高度人材の養成を目標とする教育プログラムです。本プログラムでは、在籍研究科での専門教育に加えて、文理融合・学生参加型の授業科目を擁する「社会と知の統合」に関わる独自のコースワークを提供することにより、社会システムを変革へと導く取り組みに知的体力と勇気を持って参画し、社会での実践を経て、やがては自らそれを先導する「知」のプロフェッショナルを養成することを目指しています。ここでの「プロフェッショナル」という言葉には、当該分野の知識やスキルに長けている専門家（エキスパート）に留まらず、それぞれの知を基盤としつつ他の専門家とも連携しながら社会で活躍できる人材、さらに普遍的な意味合いでの「知」の力に立脚して活躍できる人材という意味を込めています。

超域イノベーション博士課程プログラム 経済支援の概要（2023年度実績）

	Basicコース		Advancedコース		
	M1	M2	D1	D2	D3
モデルケース 1 超域のみ 超域プログラムAdvancedコースにのみ合格した者	超域プログラム		授業料免除(予定): 53万円相当/年 ^{※1} 海外旅費支援: 上限50万円 ^{※2} グループ企画支援(社会課題に関わる活動支援) 50万円/年・チーム ^{※4} 給付型奨学金: 6万円/月 ^{※5}	プログラム内活動経費(海外等旅費含む): 100万円~ ^{※3} 給付型奨学金: 9万円/月 ^{※5}	
モデルケース 2 超域+ 社会と知の統合 フェローシップ 超域イノベーション博士課程プログラムに合格した者で、 社会と知の統合フェローシップに合格した者	超域プログラム 社会と知の統合 フェローシップ	授業料免除(予定): 53万円相当/年 ^{※1} 海外旅費支援: 上限50万円 ^{※2} グループ企画支援(社会課題に関わる活動支援) 50万円/年・チーム ^{※4} 給付型奨学金: 6万円/月 ^{※5}	プログラム内活動経費(海外等旅費含む): 100万円~ ^{※3} 支給停止	研究専念支援金 (生活費相当): 20万円/月 研究費: 10万円/年	
モデルケース 3 超域+ 次世代挑戦的研究者 育成プロジェクト 超域イノベーション博士課程プログラムに合格した者で、 次世代挑戦的研究者育成プロジェクトに別途申請し、合格した者	超域プログラム 次世代挑戦的 研究者育成 プロジェクト	授業料免除(予定): 53万円相当/年 ^{※1} 海外旅費支援: 上限50万円 ^{※2} グループ企画支援(社会課題に関わる活動支援) 50万円/年・チーム ^{※4} 給付型奨学金: 6万円/月 ^{※5}	プログラム内活動経費(海外等旅費含む): 100万円~ ^{※3} 支給停止	研究奨励費 (生活費相当): 15万円/月 研究費: 60万円/年	
モデルケース 4 超域+ 日本学術振興会 特別研究員(DC) 超域イノベーション博士課程プログラムに合格した者で、 日本学術振興会特別研究員に別途申請し、採用された者	超域プログラム 日本学術振興会 特別研究員	授業料免除(予定): 53万円相当/年 ^{※1} 海外旅費支援: 上限50万円 ^{※2} グループ企画支援(社会課題に関わる活動支援) 50万円/年・チーム ^{※4} 給付型奨学金: 6万円/月 ^{※5}	プログラム内活動経費(海外等旅費含む): 100万円~ ^{※3} 支給停止	研究奨励費 (生活費相当): 20万円/月 研究費: 150万円/年	

※1 2023年度実績額。

※2 本履修生を対象としたグローバルエクスペローラにおける2023年度実績額。

※3 2023年度実績額は自主実践活動100万円/人、超域イノベーション総合50万円/チームetc.

※4 2023年度実績額。所定の審査を実施した上で支給を決定します。

※5 2023年度実績額。所定の条件による選考を実施した上で経済的支援を行います。支給金額は年度毎に決定します。ただし、支給資格を満たさなくなった場合、支給を停止します。他の給付型奨学金やフェローシップ、次世代プロジェクト、JSPS特別研究員(DC)研究奨励金との重複支給はできません。

※6 社会と知の統合フェローシップおよび次世代挑戦的研究者育成プロジェクトの2024年度以降の募集は未定です。

本履修生への 経済的支援

- コースワークにおけるフィールドスタディなどの実践活動に際して、旅費等の参加費を支援します。
- 日本学術振興会(JSPS)の特別研究員^{※7}に導いていくために、Basicコースの1年次後半からAdvancedコースの1年次の間、本履修生の中から優れた者を所定の条件のもとで選考した上で奨学金制度(2023年度実績月額6万円)などにより支援します。
- 博士後期課程(生命機能研究科にあっては博士課程3年次以上)及び4年制博士課程に在籍し、かつ学業成績が優れている履修生に対して、授業料を全額免除する制度があります。(予定)

※7 JSPSの特別研究員についてはJSPSのホームページを参照してください。特別研究員に採用されれば、研究奨励金(2024年度予定額:月額20万円)が支給され、研究費(毎年度150万円以内)への申請が可能になります。

Basicコース授業

システム思考

複雑な問題の構造を把握し、全体最適を目指すための基本的手法を理論と実践の両面から習得する授業です。

複雑な対象を、要素と相互の関係やつながりによって整理して理解する“システム”という考え方を身につけ、その考え方を自在に操れるようになることを目指します。



フィールド・プロジェクト

社会との関わりの中での課題解決に挑むことを通じて、社会課題に潜む要因や意味の広がり方、それらへの対処方法についての理解を深めるプロジェクト型演習です。

企業/自治体/団体等から提供いただいた身近な課題への取り組みを通じて、社会における境域の有り様にアプローチします。



デザイン思考

異分野の人材と連携し、チーム活動にとってより良いアイデアを創出して問題を解決するための手法を学修授業です。チームで協働しながら、問題解決のためには、共感・理解、問題定義、アイデア創出、プロトタイピングというプロセスの繰り返しが必要であることを理論の面から理解します。



フューチャー・デザイン

「フューチャー・デザイン」とは、中長期的課題に対応し、持続可能性を維持するために、様々な社会の仕組みをデザインする試みや実践のことです。この授業では、その理論や考え方を学びつつ、具体的テーマに基づく演習を通じて、持続可能社会実現に向けた新しい社会の仕組みのデザインについて学びます。



Advancedコース授業

超域イノベーション総合

この授業では、企業や自治体などとの連携のもと、文理混成チームによるプロジェクト演習として、社会課題についてのフューチャープラン創出に挑みます。取り上げる課題は、新たなビジネスから地域活性、途上国支援、環境教育など多岐にわたります。履修生は、現場観察やフィールドワーク、調査、プロトタイピング、検証を繰り返しながら、現在の延長線上にはない“新しい価値創出”の提案に挑戦します。



2016-2023年度就職先例

シスメックス株式会社、株式会社資生堂、中外製薬株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社三菱総合研究所、パナソニック株式会社、ヤンマーホールディングス株式会社、横河電機株式会社、PwCコンサルティング合同会社、ダイキン工業株式会社、ソニー株式会社、ロート製薬株式会社、大阪大学、同志社大学、追手門学院大学、東京電力ホールディングス株式会社、宇宙航空研究開発機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、千葉大学、広島市立大学

Basicコース授業を高度教養教育科目※として履修可能です

出願を予定している方には、2023年度前期に開講されるBasicコース授業の積極的な履修を推奨します。詳しくは本プログラムのホームページを参照してください。※ただし、所属研究科によって異なります。

超域イノベーション博士課程プログラム^{※1} コースワーク

Basicコース

本履修生特別メニュー

- 海外での実践活動
- チューター教員制度などによる多角的な学習の支援

共通メニュー

< ラーニング^{※2} >

- 課題設定・解決能力の基礎を修得するためのワークショップ・プロジェクト型授業
- 社会における課題のあり様や専門を社会で活かすためのスキルに関する授業

< アクティビティ >

- 自主的活動への経費支援（審査あり）
- 学生提案による社会实践の取組み

博士前期課程（2年間）^{※3}

Basicコース 履修生選抜

本履修生（5年一貫制）

準履修生

（Basicコースの一部を履修する者）

【修了】

超域 副専攻 / 副プロ

Advancedコース 履修生編入選抜^{※5}

博士後期課程（3年間）^{※4}

【修了】

学位記にプログラム修了を付記

5年
一貫制
について

本履修生がBasicコースを修了した場合、選抜試験を経ずAdvancedコースへ進学可能です。

在籍研究科での専門教育

在籍研究科での博士論文・研究

※1 本プログラムは大阪大学大学院学則第5条の6に規定されている博士課程教育リーディングプログラムの一つとして開設されています。

※2 Basicコース・ラーニングの部分は同第5条の7に規定されている大学院副専攻プログラム・大学院高度副プログラムに位置付けられます。

※3 博士課程（5年制・4年制）の1～2年次と修士課程も該当します。

※4 博士課程（5年制・4年制）の3年次以降も該当します。博士課程（4年制）の場合、期間は2年間になります。なお、Advancedコースの標準履修年限はプログラムの実施状況を鑑みて短縮される場合があります。

※5 編入試験については、定員の空き枠およびプログラムの実施状況を鑑みて試験実施の可否を判断します。

募集定員

本履修生 : 15名

準履修生 : 15名

応募対象

本履修生：大阪大学のいずれかの研究科の博士前期課程、博士課程（5年制）、もしくは博士課程（4年制）に、2023年10月、2024年4月、2024年10月（予定）のいずれかに入学した者。

準履修生：大阪大学のいずれかの研究科の博士前期課程、博士課程（5年制）、博士課程（4年制）もしくは修士課程に、2024年4月、2024年10月（予定）のいずれかに入学した者。

◎応募対象となる研究科や休学期間のある者等、詳細については募集要項を参照してください。

選抜 プロセス

選抜プロセス	期日等
説明会実施	2024年5月下旬 ^{※6}
願書受理期間	2024年6月10日（月） - 6月28日（金） 正午
選抜試験	2024年8月5日（月） - 8月6日（火）
最終合格発表	2024年9月下旬

SNSにて情報発信中



facebook



Twitter



Instagram

※6 経済支援、授業内容、試験について、より詳細に説明します。

問い合わせ窓口

大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム 事務室 E-mail: selection@cbi.osaka-u.ac.jp